



1 明南小でストリートダンス『明北小児童・明科中学生もいっしょに楽しもう！』

11月14日（金）・20日（木）



「中学校区ごとの特色と魅力を高める小中一貫教育の推進」によりスタートした『ストリートダンス』は5年目を迎えました。新曲『SONOMAMA』によるパフォーマンスがスタートして2年目となります。

令和3年度、明科地区で小中連携を推進していくにあたり、地域の小・中・高校生たち、更には園児からお年寄りまでが共通して大切にできる「宝」のようなものがあれば連携も、更には地域も盛り上がるのではないかと考え、『ダンスの町 A・KA・SHI・NA』という合い言葉を掲げストリートダンスがスタートしました。学校での取組が響き、放課後児童クラブでも「ストリートダンスを楽しみたい」と願う子どもたちの声に応え、「ダンス講座（明科公民館：ちびゆりさんが講師）」を設けた年度もありました。

本年度は、早期のインフルエンザ流行に伴い、明北小4～6年生と明科中1～3年生が練習に参加できたのは2日間でしたが、明科小中三校児童生徒が、明南小体育館でストリートダンスをいっしょに楽しむことができました。

長野県ストリートダンス普及協会オリジナルテーマソング『SONOMAMA』の曲に乗ってダンスを楽しむことを通して、協会が子どもたちに伝えたいこと（下記）は、ダンスをご指導いただいている、プロダンサーの、ちびゆりさん、A z s aさん、CHOPPA→さんが子どもたちに投げかける言葉からも多々感じられました。

☆周りとは比べず、ありのままの自分でいいんだよ
☆自分を信じて一歩踏み出してみたら、きっとその先に楽しいことが待っているよ
☆あなたは一人じゃない、周りには友達や家族がいて、あなたのことを応援してくれているよ
☆笑顔の日も、涙の日も、どんな時でも自分らしくいいんだよ

明科小中三校は本年度より、TOCO-TON 実践校としての歩みを始めているので、小中三校でのストリートダンスをどのように継続していくか、子どもの「やりたい」に耳をかたむけて考えていきたいです。

2 明北小5年総合『夜の学校でキャンプファイヤーを楽しもう!』11月21日(金)

6月の宿泊学習で、楽しみにしていたキャンプファイヤーが、雨のため行えませんでした。子どもたちの『みんなでキャンプファイヤーがやりたい!』という強い願いが、「超『長戦』キャンプファイヤー」実現への原動力となりました。「お腹が減るから何か食べたいね」「夜の学校探検もできたら楽しそう」「たくさんの薪を集めたい」等々、話が膨らむと同時に、乗り越えなければならない課題も増えていきました。子どもたちは、アイデアを出し合い、試行錯誤を重ねながら、みんなで楽しむための課題を解決していきました。外部講師を招いたり、竹や枯松を利用したりして、明科地域のよさや特色も活かすことができました。

(1)本番に向けて「作ってみよう! 試してみよう!」



五平餅作り



枯松燃焼実験



トーチ作り

(2) キャンプファイヤー当日

11月21日(金)

- | | | | |
|----------|----------|-------------|-------------------|
| 1 はじめの言葉 | 2 火の神 | 3 イッツ笑笑笑ダンス | 4 五平餅・マシュマロを食べる時間 |
| 5 インタビュー | 6 終わりの言葉 | 7 片付け | 8 夜の学校探検 |



- ・今までの準備のおかげで、このキャンプファイヤーができたのだと思って、すごく楽しかったし、親の皆さんもすごく楽しそうに笑っていて、すごく嬉しかった。自分たちで作り上げたから、こんなに楽しいキャンプファイヤーができたのだと思った。(児童)
- ・明科の五平餅を作って食べたり、明科でとれた木や竹でコップやトーチを作ったりして、明科の知らないことも知れたし、知識を広げ高められた。(児童)
- ・子どもたちの“やりたい”から、しっかり考えて準備してきたのが伝わりました。親も子も全員で楽しめるステキなイベントでした。(保護者)
- ・娘が家に帰る車の中で、「今までの学校生活の中で一番楽しかった」と言っていました。苦労して頑張った分、一生の思い出となったようです。(保護者)